



ニュース発刊に当たって — 弁政連大阪支部からの御挨拶 —

支部長 高階 貞男

○ あけましておめでとうございます。弁政連大阪支部より新年の御挨拶を申し上げます。こう書きますと「弁政連」って何やねん、お前なんでそんなことやっとなねん、とどこから声がかかりそうな気が致します。そうなんです、弁政連は歴史は古いがあまり知られていないんですね。私自身そうだったんですが、おしなべて弁護士は政治にあまり近づかないようにする人が多いのではないかと思います。しかし時代は変わりました。気が付いてみると、衆参両院議長も法務大臣も弁護士がやっており、沢山の弁護士が国会議員の政策秘書に就任するという時代になっているのです。政治の世界が突如弁護士の世界の前に現れたというのは言い過ぎでしょうか。しかし、考えてみると、これは決して突如ではなく、この20年の世の中の動きを見ると、若干のジグザグはありながらも政治と弁護士が近づかざるを得ない方向に流れてきたように思います。ベルリンの壁が崩壊し、アメリカの一極支配と言われるようになって20年近く経ちますが、我々には関係のない事のように思っていました。10年経って司法制度改革の議論が始まり、火の粉がふりかかる事態になって、これはえらい変化やなあとお戸惑いを感じました。司法制度も政治が決めると気づき、弁政連が急に脚光を浴びることになりました。チェンジの年2009年を迎えアメリカにオバマ大統領が誕生し、我が国で政権交代が起こって前述のような政治と弁護士の位置関係が見えるようになったのです。アメリカを中心とする国際関係（今また少し寛容しかかっていますが）の中での我が国社会は、より公平、公正で透明化が求められるようになりました。法曹の果たす役割はますます重要になり、社会の隅々に法の支配が浸透する為の努力が弁護士に求められるようになりました。そういう社会になればなる程、民意に基づく政治には、国民に密着している弁護士の存在が重要性を増して参ります。今、そ

の入口にさしかかったのだらうと思います。

○ 弁護士会は、人権擁護と社会正義の実現を目的とする団体として、永年に亘って様々な提言をして参りました。その中には、政治の決断を要するものも沢山ありました。従って、これを実現する為には、政治家に働きかけ理解と支援を得ることが必要な訳です。立法の主導権が官僚から政治家に移り始めた今日、一層明白になって参りました。しかし、強制加入団体である弁護士会が政治活動を行うことは慎重でなければなりません。そこで弁護士会から独立した組織である弁政連の活動が期待されることとなります。

○ 弁政連は昭和34年の設立ですから、もう50年になります。しかし、10年位前までは、あまり目立った活動はしておらず、弁護士会と政治の距離は相当に大きく、弁護士会は「言いつ放しの団体」等と揶揄された時期もありました。しかし10年位前から、弁政連の活動の重要性が見直され始め、全国に支部を作り、大阪支部もようやく本格的に活動を始めました。大阪支部は会員数240名位のまだ小さな団体ですが、大阪弁護士会の会員の皆様の御理解を得て、会員を増やし、活動を充実させたいと思っています。そして弁護士・弁護士会と政治家との架け橋としての役割を十分果たせるように変わってゆきたいのです。勿論一党一派に偏することなく、与野党を問わず、全ての議員との交流、さし当たっては、タイムリーなテーマを選んで国会議員との勉強会を考えておりますが、ゆくゆくは地方自治体の首長・議員との交流も視野に入れて活動して参りたいと思います。このような活動を継続することによって、多くの弁護士が政治に関心を持ち、やがて政治の世界に入っていく人も増え、弁護士と政治が更に近づくことも期待できます。そんな将来を夢に描きながら活動を続け、このニュースの発行も続けて参ります。皆様の御理解を心からお願い申し上げます。



弁政連大阪支部について

弁政連大阪支部 幹事長 福原 哲晃

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

お健やかに新年を迎えられたものとお慶び申し上げます。

さて、一昨年秋に勃発したリーマンショック以来、世界中を覆った不況の嵐は未だ収まらない状況にありますが、今年こそ明るい展望を見出したいものです。その意味で、昨年8月の総選挙で交代した民主党・鳩山政権の真価が問われる年でもあります。

そして、日弁連自身も、取調べの可視化をはじめとする刑事手続や民事裁判の改革、法曹養成制度の改善等、自ら提案する重点政策を実現するために、政権や国会等に対する取組みを積極的に推進する方針であり、私ども弁政連は、まさにその政治との架け橋役を強力に果たすことが期待されています。

ところで、日本弁護士政治連盟が昭和34年に設立されて51年が経過しました。我が大阪支部は全国5番目の支部として平成15年に設立されたもので、初代支部長に児玉憲夫先生が、初代幹事長に高村順久先生が就任され、草創期における支部の運営を担われました。そして、平成19年の定時総会で、支部長に高階貞男先生が、幹事長に

私が選任され今に至っております。

現在、支部の数は全国で28。会員数も2758名(加入率10.1%)になりました。我が支部の会員数も、私どもが引き継いだ平成19年度から108名増えて244名(加入率7.1%)までになりました。

この間、弁政連は、前回の総選挙を含む国政選挙において、「日弁連の政策及び諸活動に理解と協力が得られると認められる」方々を国会議員候補者として推薦し、多くの弁政連推薦の議員が誕生いたしました。衆議院では91名(大阪選挙区11名)、参議院では35名(大阪選挙区2名)、内弁護士議員は37名(衆議院21名、参議院16名)にもなっております。

当支部が昨年10月16日に開催した衆議院議員当選祝賀会には、実に議員ご本人が15名も出席されました。支部開設以来の出来事ですが、弁護士会の存在感が政治の領域でも十分認知されてきたことを物語るものです。

政策の勉強会その他、国会議員の方々と接触する機会を積極的に作り、この流れをさらに推進するとともに、できれば地方議会にも拡げていきたいと思っております。

今年度のこれまでの活動報告と 今後の活動予定

弁政連 大阪支部 副幹事長 藤原 誠

1. これまでの活動報告

●公職選挙法に関する勉強会

平成21年7月16日に大阪支部主催で公職選挙法に関する勉強会を大阪弁護士会館で開催しました。衆議院議員選挙が近日中に予定されていたことから、立候補予定者の方々に、公職選挙法に関する知識を深めていただくとともに、支部会員との懇談を通じて、弁政連の活動をアピールするために開催しました。

当日は、各政党より、立候補予定者本人1名、立候補予定者の秘書などの関係者が43名、弁政連会員8名の合計52名が出席しました。

渡部一郎弁護士の講演の後、質疑応答が行われ、充実した勉強会となりました。

●当選祝賀会

平成21年10月16日に今般の衆議院議員選挙で当選された大阪府を選挙区とする衆議院議員を招いて、当選祝賀会をANAクラウンプラザホテル大阪で開催しま

した。出席者は、衆議院議員15名、代理出席8名、弁政連会員55名の合計78名でした。出席議員及び秘書の全員からご挨拶をいただき、和やかな雰囲気のもと、支部会員と親しく意見交換を行うことができました。

2. 今後の活動予定

●取調べの可視化に関する勉強会

平成22年2月6日(土)午後1時から、取調べの可視化に関する勉強会を、大阪弁護士会館で開催します。講師は小坂井久弁護士です。民主党に政権交代しましたが、弁護士・弁護士会が実現しなければならない喫緊の課題が取調べの可視化です。当日は、小坂井弁護士の講演の後に、国会議員の方々と活発な意見交換を行いたいと考えております。

多くの方のご出席をお願いします。

※ なお、日程が当初の平成22年1月16日から2月6日に変更になっておりますので、ご注意下さい。

勉強会



当選祝賀会



社民	共産	共産	自民	自民	自民	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主	民主			
辻元 清美議員 (代理出席)	吉井 英勝議員	宮本 岳志議員	松浪 健太議員 (代理出席)	谷畑 孝議員	竹本 直一議員 (代理出席)	渡辺 義彦議員	吉田 治議員	森山 浩行議員	村上 史好議員	藤村 修議員 (代理出席)	平野 博文議員 (代理出席)	萩原 仁議員	中野 寛成議員 (代理出席)	中島 正純議員	中川 治議員 (代理出席)	長尾 敬議員	辻 恵議員	熊田 篤嗣議員	熊谷 貞俊議員	大谷 信盛議員 (代理出席)	大谷 啓議員	稲見 哲男議員

入会のご案内

日本弁護士政治連盟(弁政連)は

日弁連の政策実現をめざして行動します。

各政党との懇談会を開催します。

国会議員との意見交換や政策提言を継続的に行います。

若手が参加できる勉強会や楽しい企画を実施しています。

政治活動をしますが、政治におもねません。

あなたも、弁政連に入会しませんか。

弁護士登録5年未満の会員は会費が無料です。

- 1 日本弁護士政治連盟(略称「弁政連」)は、政治資金規正法第3条の「政治団体」です。日弁連の政策を、国会議員や政党の理解と支持を得つつ、立法というかたちで実現していく幅広い活動を行っています。「政治資金団体」と異なり、特定の政党を支持するものではありません。
- 2 弁政連は、任意に加入した弁護士の会員のみで組織され、運営は原則として会員の会費によって行われています。
- 3 弁政連には、都府県単位、ブロック単位の支部があり全国で活動しています。現在支部のない地域には支部を設立する活動を積極的に行っています。
- 4 弁政連の会員の(本部)会費は年間1万円です。ただし、弁護士登録5年未満の会員は「無料」です。なお、弁政連(本部)の会員となりますと、支部のある地域の会員は支部の会員ともなります。支部の会員は支部の規約に基づき別途支部の会費を納めていただきます。(大阪支部の年会費は5,000円です。)

日本弁護士政治連盟入会申込書

私は、日本弁護士政治連盟に入会したく申し込みます。

平成 年 月 日

日本弁護士政治連盟 行

申込者

【氏 名】

【所属弁護士会】

【登録番号】

FAX送信先 **03-3580-9976**